

名古屋城全体整備検討会議 200622
(名古屋市民オンブズマンによるメモ)

10:00

鈴木保存整備室長：はじめる

佐治名古屋城総合事務所長：ありがとう

移動解除され、文化庁も来た

毀損事故について

前回中間案→石垣・埋蔵文化財部会に諮った

その他報告2件、議事3件

鈴木：出席者紹介

愛知県 代理山内

ここでカメラ退出を

資料確認

報告1 要綱改正

名古屋城：報告1

・本丸御殿復元 削除 建造物部会からも削除

・調整会議を追加

・石垣部会→石垣・埋蔵文化財部会に

あらたに石垣部会に1人追加

鈴木：ご意見は

なければ次 報告2 部会での検討状況

名古屋城：報告

・建造物部会 なし

・庭園部会 3回やった

・石垣部会 4回やった

・天守閣部会 4回やった

10:17

鈴木：意見は

赤羽：建造物部会 会議開かれていない

毀損事件 外構工事計画 建造物に関わること

外構工事の計画そのものについて考えを聞いてもよかったのでは

佐治：建造物部会 ご意見を聞いてもよかったのでは

適切なタイミングで進めたい

瀬口：庭園部会 部材

建造物部会に伝えている

余芳の部材について諮っては？

名古屋城：余芳について、去年は調査できなかった

瀬口：資料も庭園部会に示して

高瀬：庭園部会 二の丸発掘調査 体育館周辺

埋蔵文化財部会 報告されていない

名古屋城：3か年の3年目

今年から石垣・埋蔵物部会ができた

諮りたい

高瀬：告示したいようだが、遺構はでているのか

村木副所長：2メートル×4メートル トレンチ調査

小さい+攪乱

一部 近世の遺構が残っている

高瀬：遺構が出てきたら全体部会でも報告を

鈴木：そのように取り扱いたい

議事 瀬口座長に一任

事務局から報告を

10:25

鈴木：遺構毀損事故について

再発防止策 資料3-17から

3-19 一から出直す覚悟

束石? →礎石に訂正

3-21~24

3-33 7つの視点

3-36 再発防止対策

「新規の掘削」

3-40 統一的な手順

3-43 毀損の状態と今後の修復方針

再発防止対策とは若干異なるが掲載

3-44 まとめ

3-45 フローチャート

事故発生から本日112日

有識者、文化庁、愛知県にも相談した

市議会にも報告した

村木副所長：毀損現場現地調査

資料3-1 許可申請にない部分を掘削

遺構に達するものではないと思われる

間知石？ 調査したい

五番蔵 学芸員の立ち合いなく掘削と施工

確認できていない 調査したい

位置について疑問？

次の機会にしたい

現状変更許可申請を超えて発掘調査

遺構の一部が見つかった

まず施工で一部崩れた

学芸員の立ち合いなく掘削

石を外すとき立ち合い

掘り下げは立ち会わず

学芸員の立ち合いなく現代の構造物撤去

名古屋城：資料3-5

・移動 礎石10 地覆56石

・残っている 礎石4 地覆石28

移動した7石 2012年度試掘調査で検出。

標高記録済み

調査円滑 あらかじめ礎石、地覆石の残存状況を

礎石間隔 1間間隔 六番蔵では6尺3寸

ほかは6尺5寸

石列残存状況

資料3-15 案1案2

毀損があった時点でそれ以前から礎石4石、地覆石13石欠損

3-16 赤が元位置を外れた

すべて手堀で慎重にやる

遺構を離れた石 遺物として残す 三次元計測をして
石の抜き取り痕跡と石を照合したい

10:56

瀬口：ご意見ご質問は

高瀬：考え方

平面表示 古図を参考→遺構を参考にすべき

再発防止対策に書いていない

表土を剥くと遺構

遺構をそのまま見せる整備のほうがよかった

迫力がある展示

大きく壊してしまった 遺構をそのまま見せるのは難しいのかも

本来は遺構が表土直下にあるとわかっていたら、露出して見せたら

佐治：古図を参考

遺構の調査が不十分だった

本来資料から推定ではなく、遺構の位置を確認するのが基本

表現のほう検討する

表土の直下に遺構 いわゆるどう見せるか

有識者会議 適切に諮っていなかった

先生方のご意見を伺えばよかった

瀬口：遺構面を重視して、石列は遺構と認識していなかった？

村瀬：調査の時点で、石列があることは発見

30年調査でも石列は前提 石列は遺構と認識

3-45 整備手法は適切か？

遺構を見せる手法 事前に有識者に諮らなかった

瀬口：石列が遺構という認識があれば、コンクリートを打つのは考えられない

村瀬：盛り土をしたうえでやれば

手法の点で反省点

麓：今回の調査 3-16 案の1か2か確認できるのか

名古屋城：今回の調査では、案1か2かは確認できない

今後六番蔵 検討で提示

第1弾として毀損部分を調査したい

麓：もう少し西を調査すると、案1か2か、両者でもないかわかる

村木：第1段階は毀損の状況

将来的には表面展示考えている どういう構造だったか

第1段階終了後に考えたい

三浦：ほかの史跡 遺跡の表示

露出か平面にするのか 整備の委員会で諮って審議するのが通常

具体的な施工の方法 盛り土、基礎 表面表示の仕方

レプリカか線だけ引くのか 委員会に諮るのが普通

名古屋城 一切出てきていない

よそのところを参考にして、一番いいように

鈴木：諮っていなかったのは反省すべき

毀損部分を全力 その後先生方に諮りたい

瀬口：展示方法 部会に諮るということですね

対策について文化庁に意見を

山下：毀損 本来なら政令市 特別史跡管理団体 全国の模範になるべき

文化庁としても甚だ遺憾

再発防止策 丁寧にまとめた印象

問題は、まとめたものをきちんと実行する

文字だけあって、できなければ何の意味もない

再発防止策 経緯、原因を分析された

肝に銘じて再発防止策 保存整備にまい進してほしい

先生方も、名古屋市を叱咤激励 二度とこういうことがないように

瀬口：全国の模範になるべきだ

三浦先生 諮っていく
建造物と埋蔵物 接点が問題に
建築関係が入るべき
本日提案 特段だめだということではない
文化庁 学芸員の立ち合い
全部がうまくいって最後の確認
その前が重要 チェックが必要
計画を実行するように
1時間たったので10分休憩するか

11:12

11:21

瀬口：はじめる 2020年度事業予定

名古屋城：資料4

- ・表二の門および附属土堀
- ・二の丸庭園保存
- ・二の丸発掘調査は石垣・埋蔵物部会で
- ・本丸搦手馬出石垣修復 準備
- ・石垣カルテ 引き続き
- ・本丸天守台石垣 堀内
総合外観調査
北面レーダー
保存方針の作成
- ・天守閣整備事業 石垣保全のための調査
木造復元計画（基本構想、基礎構造）
- ・本丸御殿等防火対策

11:26

瀬口：ご意見をお願い

小濱：建造物部会

要望 工学的に進歩 安全性、耐震性についてできるかぎり精密に解析を
石垣安全性、天守の安全性
それなりの安全性 数値で評価可能

佐治：ありがとう

工学的見地から解析を進める

瀬口：ほかには

赤羽：令和2年度事業

毀損事故についてどこにも書いていない

今年度なににも劣らずやるべき

事業 別にして、一丸になってやるんだ

今年度 毀損事故、外構工事全体基本構想

作っていくべき

西の丸毀損事故

この中で、埋蔵文化財学芸員がかかわるのはどれとどれか

村瀬：これからお諮りする

表二の門、二の丸庭園の発掘調査、二の丸地区

搦手馬出勾配、

多くの学芸員

防火対策、木造復元以外は考古の学芸員

赤羽：かなり多い

現在、学芸員は何人いるのか？

今年度事業をやりこなせるのか？

学芸員の負担が大きいのではないかとおそれる

これから力を蓄えていくべき 調査研究

事業目白押しでできるのか危惧

学芸員の養成 これだけ多くの事業 やれるのか疑問

二の丸発掘調査 目的、緊急調査なのか？

面積が少ない、攪乱が著しい 成果が見えてこない

むしろ学芸員の負担 不急の事業ではないか

県体育館が移転する 見えてきた

まだ時間が必要

どういう調査をするか検討しては

移転が具体的になってから

人も入っている 発掘調査 面積確保してやれる状態にない

効果がないのではないかと

二の丸調査 見直しをしてほしい

急いでやるべきか

村木：考古定員 8 名 欠員 1 名

経験が少ない学芸員も多い

十分な体制がとれるのか？不安がないわけではない

毀損 1 年あてて取り組む

ほかの調査が十分できるのか？

学芸員の能力を超える部分があったのではないかと反省

事業、予定ありきではなく、学芸員ができるところ

整備事業で折り合いをつける

能力向上を図りながら 事業に合わせて無理をするのではなく、
できる範囲で対応する

瀬口：本年度事業については、関連部会で諮って全体整備検討会議に諮る

西の丸 適宜検討して全体に諮る

本丸内堀

11:36

村木：資料 5 本丸内堀発掘調査

毀損事故後、次の調査について出すのはどうかという意見

昨年度名古屋市 解体现状変更許可→文化庁指摘事項に対応する

そちらはそちらで早急に対応したい

一覧図 水色 R-V

資料 5-3 レーダー探査 堀底の調査

1 メーター単位でレーダー探査した

西側の堀 水分、空隙

F、G 帯状で反応している

もともと？もう一つの小天守？

石垣部会に諮ったら、その状況と石垣・根石の状況を調べては

資料 5-2 W、X、Y、Z

溝状を横断する形 南北方向+石垣の接点

瀬口：意見

高瀬：赤く反応 深さはどれくらい？

村瀬：平面図 1. 2メートル

断面図 1メートルごとに線

かなり深いところまで 2メートル近くまで反応がある

高瀬：もともと東西方向 谷筋があったということか

村瀬：赤い反応 自然地形ではなく、人為的な掘り込みがあった

高瀬：発掘計画 赤いところの中に納まっているよう

南北方向にやっては

村瀬：落ち込みをまたぐように

もう少し幅広く現状変更申請したい

小濱：5-3 赤色と青色の違いは？

村木：反応があれば赤

小濱：反応があるとないのはどういうことか

土が違うのか？

村木：土が変化するところで変化

水分の量、空隙、金属がある

探査自体 断面図を視覚化したものが平面図

小濱：赤くなったところは手が加えられたもの？

トレンチ調査するということか

村木：そう

小濱：堀底の遺構はどのようなものが期待されるか？

村木：溝状にあるだろう

一つは現天守作るときに出てきたものを埋めた 攪乱

もう一つ G 天守閣に切り欠き
当初はもう一つの小天守 遺構
資料に「遺構がある」
実際にやってみる

麓：5-2 4年連続内堀調査

計画的に4年やってきたのではなく、それぞれの年度で不十分
解決できないこと それを解決するためと感じる

この4か所 T字型発掘で、内堀調査は終了か、また新たな疑問か
来年、再来年調査課

村木：当初 A-N

当初計画にはないものを増やしている
堀の中 相当な面積
成果を有識者にお諮りしていくことに
ある程度のところで最終的な成果に

麓：現段階ではこれだけやれば最後になるだろうという思いか

村木：これですべて答えられると思っている

麓：西側の石垣 上のほうに、四角く穴が開いたような線が見える

それは当初の西側にもう一つ小天守？

宝暦に積みなおしている

木工事続く あの部分だけ開けておいた

あそこから出入りしていた

橋台からでは工事にならない

ほとんど工事が終わってからふさいだ

私もそういう論文書いた

西側小天守 思い込んでいるのはなぜか

瀬口：全体整備検討会議でも出た話

村木：すみません

瀬口：レーダー探査 空隙、水

周波数が違う

何を見つけようとして、周波数は何か

文学的な話になる

村木：400メガヘルツ 2メートルまで電波が届く

瀬口：なにを見つけようとしたのか

内部の湿気、空気、金属 違うような気がする

今回は400メガヘルツで何を見つけようとしたのか

赤い色はどういう意味があるのか

わからなければ次回

三浦：溝状のなにか

内堀の下

当初 小天守計画があった

堀底の下であれば、遺構の可能性はほぼない

織田信長時代の遺構？ 石垣

溝に直行 溝と並行は

計画的におかしい

東西ではなく南北に1本すればよい

石垣の根元だけやればよい

トレンチの計画自体おかしい 再検討を

村木：溝状に直行 T字状

再度検討したい

三浦：発掘調査は破壊 最小限

内堀の底を破壊活動

地盤が弱くなる

南北に1本つながないとみつからない

際なら、1か所か2か所でよい

いくらなんでも掘りすぎ

村木：検討したい

溝状のものが見つかったとしても、掘り下げるのは目的外

瀬口：目的を明確にして、位置を適切に行う
それを検討してほしい
北面レーダー探査

12:01

村木：現況調査
今年3月に石垣部会に諮った
北面ハラミだし 茶色から黄色 さらに調査が必要
赤い点線 足場をかける
栗石の状況など
突石の長さ 900メガヘルツ
空隙 300メガヘルツ

瀬口：質問は
(赤羽退席)

麓：不足のデータ
わかったらどういう風にすすんでいくか

村木：石垣状況把握 整備をどうするかにかかわらずどう保全するか
保全方針を備えて整備に備える

麓：それで安定性、安全性が評価できる見込みがあるのか
不足であればどういう処置をとるか
筋道を立てられるか
工学的解析 どの程度見込みがあるか

村木：調査をして、石垣部会を諮る
工学の先生も入った

麓：ほかの石垣でも調査している
どのように耐震対策、保全に生かされているか
その辺名古屋市 ほかの事例を調べたうえで今の技術でわかるのか
わからないことも多い
ほかの例を調べたうえで
「言われたからやった。見解、判断は石垣部会にまかせる」ではなく

もう少し先を読んで
他城郭を調べたうえで

村木：ありがとう

瀬口：調べるんですね。

よろしいですか

調査して、先の見通しを考えて

ここは難しいところ 検討して

意見については担当部会

手に負えなければ、全体整備検討会議で検討

特になければ議事を終了したい

鈴木：長時間ありがとう

全体整備を進めたい

観光文化交流局長から挨拶

松雄：遅れて申し訳ない

ありがとう

お忙しい中文化庁ご臨席

毀損事故 申し訳なく思っている

「日本全体のリーダーである名古屋市」

確実に実施するしかない

今後も慎重に対応したい

市長にも報告し、文化庁に提出したい

鈴木：終わる

12：13